

# 都市再生整備計画(第7回変更)

くまもとしとしんぶちく  
熊本市都心部地区

熊本県 熊本市

平成24年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	熊本県	市町村名	熊本市	地区名	熊本市都心部地区	面積	890 ha
-------	-----	------	-----	-----	----------	----	--------

計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度
------	---------------------	------	---------------------

### 目標

**大目標**：城下町の歴史が息づく暮らしやすい環境の中で、九州中央の交流拠点都市にふさわしい多様な交流と賑わいのある都心部を形成する。

目標－1 森の都のシンボルであり、本市固有の地域・歴史資源である熊本城の魅力を更に高め、また、その有効活用により多くの市民や来熊者が気軽に熊本城の歴史文化に触れる機会を創出し、観光・交流の拠点性向上を図る。

目標－2 都心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、産・学・行政が連携して交流の場を創出し、都心部の魅力を高め、賑わいのある中心商店街を形成する。

目標－3 公共交通の利便性向上を図るとともに、安全・安心に暮らせる良好な生活環境の形成を図り、誰もが暮らしやすい居住空間を創出する。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・熊本市都心部は、17世紀始め、加藤清正が熊本平野に延びる京町台地の先端、茶臼山に熊本城を構え、城下町を形成したことを起源とし、これまでの歴史的経緯の中で、行政、業務、商業等の様々な都市機能が集積し、西日本有数のアーケード街を有するなど「熊本顔」として、また、武者返しとして有名な熊本城へ多くの観光客が訪れるなど観光地としても発展してきた。
- ・しかしながら、その本市のシンボルである熊本城の入場者数も、観光に対する需要が多様化し、海外旅行の増加や国内旅行においてもテーマパークや温泉地等へシフトしていることなどから減少傾向にあり、ピーク時から半減している状況にある。
- ・そのような中、平成19年の築城400年を契機として、お城の魅力向上を図るため、築城当時の威容を現代に蘇らせようと復元整備事業に着手しており、これまで、飯丸五階櫓の復元に完了し、現在、本丸御殿大広間の復元に取り組んでいる。(まちづくり総合支援事業)
- ・また、アーケード街を中心とした中心商店街においても、モータリゼーションの進展に伴う市街地の拡大や人々の生活様式の多様化、さらには、病院など公共施設の郊外移転により、商業活力の低下が懸念されている。特に、近年の大規模商業施設の郊外立地により確実に来街者数が減少している状況である。
- ・そのようなことから、これまで個別に活動してきた商店街がひとつに纏まりを見せ、また、熊本大学工学部の出張研究室「まちなか工房」が開設され、地域の方々や行政合同による勉強会の開催など産・学・行政の連携によるまちづくり活動が展開されている。
- ・さらには、ひとつに纏まった商店街を中心として、お城まつりに合わせた各種イベントの開催が盛んに行われるようになった。
- ・また、当該地域では、以前は地理的優位性から多くの居住者が生活していたが、市街地の拡大などとともに人口が減少している。
- ・これらの地域は、旧来から市街地であったため一定の都市基盤は整備されているものの、都市型水害が発生する地区があるなど、生活環境上の問題もある地域である。

#### 課題

○平成23年春に九州新幹線鹿児島ルートの中線開業が予定されているなか、本市が九州の中央に位置するという地理的優位性を最大限に活かし、魅力ある交流拠点都市として成長していくためには、広域結節拠点となる副都心部(熊本駅周辺地区)の基盤整備を行うとともに、熊本城をシンボルとする都心部の魅力と活力の創出に取り組むことが喫緊の課題である。

- ・本市のシンボルであり、また、日本を代表する歴史資源である熊本城について、現在、築城400年に向け復元整備を進めている。近年、観光客のニーズが体験型や歴史資源を見直す傾向にある中で、これを機に、熊本城の魅力を広く発信することによって、観光・交流の拠点性を高める必要がある。
- ・商業、業務、居住等の都市機能が集積され「熊本顔」として発展してきた中心商店街については、大規模商業施設の郊外立地等による来街者の減少に歯止めをかけるため、交通基盤施設の整備による来街者の利便性向上を図るとともに、産・学・行政の連携によるまちづくりを更に強化し、賑わいの回復を図る必要がある。
- ・都心部の持続的な発展のためには、居住人口の減少に歯止めをかける必要がある。そのためには、良好な生活環境の形成を図るとともに、公共交通の利便性向上を図るなど高齢者を含むすべての人々が暮らしやすい都市型居住地としてのまちづくりを促進する必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

○都市の将来像として、熊本城を中心とした都心部から周辺へ階層的に立地する秩序ある市街地の構造を目指す。

- ・「第5次熊本総合計画」では、「人々が集う森の都づくり」がまちづくりの重点的取り組みとして位置づけられており、「熊本城を核とした歴史的景観の整備、活用」「魅力ある交流拠点の形成」「広域交流のための基盤整備の促進」に取り組むとされている。
- ・また、平成16年に策定された「まちづくり戦略計画」では、熊本城の復元整備とその有効活用や、街なかの賑わい創出など「熊本城を活かした魅力ある都心の形成」を図ることとしている。
- ・「熊本市都市マスタープラン」では、都心部を熊本城を中心とした魅力ある商業地として、また、今後も九州や熊本県における業務活動を支える主要な業務地として位置づけ、更なる機能の拡充又は更新を図ることとしている。
- ・「熊本市都市マスタープラン」では、熊本駅、上熊本駅、水前寺駅などJR線の主要駅や内環状道路に囲まれた地域について、利便性の高い都市空間として、集積されてきた各種の都市機能の維持又は更新を図ることとしている。
- ・また、将来の超高齢化社会や少子化を睨み、誰もが安心して暮らしやすいコンパクトなまちづくりが求められており、本市でも中心市街地の活性化を推進するため、「熊本市中心市街地活性化基本計画」を平成19年5月に策定している。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
熊本城入場者数	人/年	熊本城年間入場者数	最大の観光スポットとしての交流拠点機能が高まった結果として、1割増を目指す。	825,807	平成17年度 1,000,000	平成23年度
商店街歩行者通行量	人	平日および休日の中心商店街(計5箇所)の12時間通行量(歩行者・自転車)の合計	官民一体となった賑わいのあるまちづくりが進んだ結果として、1割増を目指す。	248,509	平成18年度 275,000	平成23年度
計画区域内居住人口	人	都市再生整備計画区域内の居住人口	暮らしやすいまちづくりが進み、人口減少に歯止めが掛かった結果として、微増を目指す。	33,820	平成18年度 34,000	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>方針1: 熊本城の魅力を更に高めるとともに、多くの市民や来熊者が気軽に熊本城の歴史文化に触れる機会を創出する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな夜の観光スポットを創出するため、熊本城周辺の園路をライトアップする。</li> <li>・熊本城の築城400年を契機として、更なるお城の魅力向上を図るため、本丸御殿の復元整備を行う。</li> <li>・熊本城と調和のとれた景観形成を図りつつ、熊本城来場者の利便性向上や快適な散策を実現するため、城域周辺部を含めた環境整備等を行う。</li> <li>・築城400年記念イベントを積極的に展開し、熊本城の魅力を広く全国に発信する。また、熊本城周遊バスを運行し、来熊者の利便性向上を図る。</li> <li>・プラネタリウム投映システムの機能を増進・強化することにより、臨場感溢れる映像や動画を駆使し、復元された熊本城と一体となって、市民や観光客が楽しく歴史や文化を学べる回遊空間を形成する。</li> </ul>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本城奉行丸周辺ライトアップ事業 &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>熊本城本丸御殿復元整備事業&lt;提案事業、市&gt;</li> <li>熊本城周辺おもてなし空間整備事業&lt;提案事業、市&gt;</li> <li>熊本城築城400年記念事業&lt;提案事業、市&gt;</li> <li>桜の馬場利活用推進事業&lt;提案事業、市&gt;</li> <li>熊本城桜の馬場観光交流施設(仮称)整備事業&lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>熊本博物館プラネタリウム機能増進事業&lt;基幹事業、市&gt;</li> </ul>
<p><b>方針2: 都心部への交通アクセス性の向上や賑わいと交流の場の創出による中心商店街の活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州新幹線建設事業と並行して施行されるJR鹿児島本線連続立体交差事業に合わせ、交通拠点性を活かした東西の一体的なまちづくりを図るため、上熊本駅周辺の幹線道路の整備に取り組み交通結節機能の強化を図る。</li> <li>・熊本都市圏の内環状道路として位置づけられる子飼新大江線は、子飼橋を含む起点部分がボトルネックとなり、朝、夕にはひどい交通渋滞が発生しているため、子飼橋の架け替えを含む環状道路の整備に取り組み、都心部へのアクセス機能を強化する。</li> <li>・路上喫煙およびポイ捨て禁止対策関連事業を実施し、安全で安心できる環境の創出や環境美化整備による都市のイメージアップ・県内外からの観光客誘致等による中心商店街の活性化を図る。</li> <li>・市電軌道敷の緑化によって、熊本城の緑と連動した新たな緑の創出と、沿線の騒音低減を図り、熊本城と中心商店街間の回遊性を高め、街なかの賑わいや「森の都」熊本の魅力の向上を図る。</li> <li>・水の印象が少ない中心市街地において、親水空間の整備を行い、来熊者等に地下水都市熊本をPRするとともに、潤いと憩いの空間を創出することで、中心商店街の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路事業[都市計画道路 野口清水線外1線(段山島崎線)] &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>街路事業[都市計画道路 花園池亀線外1線(野口清水線・池亀)] &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>街路事業[都市計画道路 上熊本駅西口線] &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>街路事業[都市計画道路 新町戸坂線] &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>道路事業[島崎3丁目上高橋町第1号線] &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>街路事業[都市計画道路 子飼新大江線] &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>街路事業[都市計画道路 池田町花園線外1線] &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>街路事業[都市計画道路 花園インター線外3路線] &lt;関連事業、県&gt;</li> <li>連続立体交差事業[JR鹿児島本線] &lt;関連事業、県&gt;</li> <li>九州新幹線鹿児島ルート建設事業[博多～新八代間]&lt;関連事業、鉄道運輸機構&gt;</li> <li>中心市街地活性化推進事業 &lt;提案事業、市&gt;</li> <li>安全・安心で美しい熊本づくり事業&lt;提案事業、市&gt;</li> <li>市電軌道敷緑化事業&lt;提案事業、市&gt;</li> <li>下通アーケード改修事業 &lt;関連事業、商店街振興組合&gt;</li> <li>地下水都市熊本空間創出事業</li> </ul>
<p><b>方針3: 公共交通の利便性向上や生活環境の改善による安全で安心な暮らしやすい居住空間の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した路面の舗装工事や交差点改良事業等を実施し、安全で安心な生活環境の向上を図る。</li> <li>・都市型居住地としてのまちづくりを推進するため、熊本市地域防災計画に災害危険箇所等として位置づけのある壺川排水機場の浸水対策事業を実施し、安全性の高い良好な生活環境を創出する。</li> <li>・地域コミュニティの活動拠点となる施設を整備し、地域の自主的、主体的なまちづくり活動を推進する。</li> <li>・集中豪雨時にマンホール蓋の浮上・飛散による事故が多発しているため、災害時に住民が避難する際の被害を防ぐためにも、マンホール蓋を浮上防止型に改良し、安全・安心な生活環境を創出する。</li> <li>・高齢者などすべての人が安心して移動できる交通手段である熊本市電について、路面電車優先信号を整備することにより、所要時間の短縮や定時性の確保を図り、利便性の向上を図る。</li> <li>・都市部のヒートアイランド現象を緩和するとともに、潤いのある都市空間を創出するため、屋上や壁面の緑化事業に対して助成を行い、良好な生活環境の形成を図る。</li> <li>・子飼橋周辺は、文教地区として高校・大学などが多く立地しており、自転車・歩行者の交通量が非常に多い地区である。そこで、子飼新大江線の整備に合わせ、安全に安心して通行することができる広幅員の自転車・歩行者空間の確保を図る。</li> <li>・良好な都市景観を形成し、都市の安全性を確保するため、地域に密着し市民が身近に利用できる公園を整備することにより、安全で安心な生活環境の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路改良事業[壺川2丁目第1号線外8路線]&lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>壺川地区浸水解消対策事業 &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>城西地域コミュニティセンター整備事業 &lt;提案事業、市&gt;</li> <li>セーフティ下水道事業 &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>路面電車優先信号整備事業 &lt;提案事業、市&gt;</li> <li>屋上等緑化助成事業&lt;提案事業、市&gt;</li> <li>街路事業[都市計画道路 子飼新大江線(自転車・歩行者道)] &lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>公園事業[横手四丁目公園]&lt;基幹事業、市&gt;</li> <li>電線共同溝整備事業[城東地区] &lt;関連事業、市&gt;</li> <li>白川緊急対策特定区間整備事業[八城橋～龍神橋]&lt;関連事業、国&gt;</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交付期間中の計画の管理について</li> <li>・各種事業を円滑に進めるとともに、目標の実現に向けて確実な効果をあげるために、庁内に横断的な組織を設置し、また、「中心市街地活性化協議会」等の意見も聴きながら、計画の進行管理、事業間の調整を行う。</li> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり活動について</li> <li>・官民一体となって中心市街地の活性化を推進するため、「中心市街地活性化協議会」を平成18年12月に設立、「熊本市中心市街地活性化基本計画」が平成19年5月に認定されている。事業終了後においても、同協議会や熊本大学の出張研究室「まちなか工房」等と連携を図り、賑わいのあるまちづくりを進める予定である。</li> </ul>	

